

〈研究の経過と概要〉

1 研究主題

「わたしの音楽 みんなで音楽」

～音楽を形づくっている要素を感受し 自ら広げる音楽の世界～

2 研究主題について

現在の学習指導要領では、一人ひとりの児童生徒が、より主体的な音楽の学びを表現できるようにすることが大切である。そのためには、児童生徒が、その音楽のよさや美しさを感じたり、味わったり、また、表現について思考錯誤しながら工夫したりするなど、音楽の授業が「思考・判断・表現」する場となることが一層求められている。そして「わたしが感じた音楽」「わたしが工夫した音楽」「わたしが表現した音楽」「わたしがつくった音楽」など、音楽を通した自己表現として現れたり、「わたしがいいなと思う音楽」「わたしが好きな音楽」など、一人ひとりが自分の価値観を持って音楽を愛好し、自分の言葉でその音楽のよさを説明したりすることも、音楽の学力として求められている。このように子どもたちが音楽を価値あるものとして受け入れた状況を「わたしの音楽」とする。

「合唱や合奏などを全員で一つの音楽をつくっていく体験を通して、表現したいイメージを伝え合ったり、協同する喜びを感じたりする指導を重視する」ことは、これまでも「身につけさせたい力」として研究のポイントに位置づけられてきた。一人一人が音楽から感じ取ったイメージを伝えるために、表現をどのように工夫するか考えたり、仲間と一緒に音楽を通して伝え合ったり、互いのイメージを共有しながら、みんなで音楽を試行錯誤したりする活動を「みんなで音楽」とする。

〔共通事項〕に示されている「音楽を形づくっている要素」を一人一人が知覚し、それらの働きが生み出す「よさ」や「面白さ」「美しさ」などを感受する場を設定しながら題材を展開する。

〔共通事項〕を学習することを目的とするのではなく、その学習を支えとして、音楽を感じ取ったり工夫したりしながら表現する活動を展開し、児童生徒一人一人が「音楽っていいな」と実感しながら豊かに表現し、深く味わい、質の深い楽しみにあふれた姿が見られることを目的とする。

私たちは、児童生徒の主体的な学びを大切にしながら、教えるべきことはきちんと教え、一人一人の音楽的な感受を通して、音楽が「わかった」「できた」などといった喜びを実感する授業を展開するとともに、一人一人に「その子の音楽」が根付き、音楽を通した自己実現が豊かに広がることを願い、本主題を設定した。また、東山梨独自の視点をもった研究へと発展させたい。

3 研究の具体的内容と方法

(1) 研究の具体的内容

① 教材研究

- ・音楽科としておさえるべき基礎・基本の分析
- ・教材選択の視点の明確化（この教材を通じて、子どもたちにどんな力をつけさせたいか）

② 授業研究

- ・子どもたちがそれぞれの思いを実現し、音楽的満足感を味わえる授業の工夫
- ・音楽を形づくっている諸要素をどのように知覚・感受させ、よりよい表現につなげていくか
- ・指導と評価の一体化の実践

③ 明日の授業づくりのために

- ・講習会
- ・音楽発表会
- ・教職員合唱
- ・音教研，教研の還流報告

(2) 研究の方法

- ・教育研究日（全10回　うち6回を実施）
- ・外部講師　内部講師による講習　研究の充実
- ・昨年度行われた関東音楽教育研究会での実践や日頃の研究の成果を還流しあい，さらに多くの実践に結びつけていく。

(3) 研究の経過

	研究日	内 容
第 1回	5月8日	役員の決定・仕事の分担確認組織作り研究テーマ・研究計画の素案提示
第 2回	5月15日	春季教研（5/11）の報告　本年度の研究について（研究テーマ，計画，授業者の決定など）　実践①合唱「ふるさと（同二）」
第 3回	6月 5日	研修①ハンドクラップを使った授業のしかけを学ぶ（講師：長谷部匡俊先生）
第 4回	8月 5日	研修②リコーダーの演奏の実際と展開の工夫（講師：笠松徳司先生）統一授業研授業案検討　実践②合唱「ふるさと」　など
第 5回	8月30日	統一授業研　鈴木千秋先生（加納岩小）
第 6回	10月 2日	県教研について　実践③　合唱「ふるさと」・リコーダー実技　など

4 共同研究者と報告書作成参加者

共同研究者　野中るみ子（八幡小教頭）

報告書作成参加者

山梨	鈴木千秋（加納岩小）川崎幸江（後屋敷小）窪田真由美（後屋敷小）高野栄子（日川小）　鈴木奈津美（山梨小）倉田和美（牧一小）　竹川美和（牧二小）平塚すみり（三富小）清水岳人（山梨南中）五味伸子（笛川中）平山昌実（山梨北中）鶴田心（山梨北中）
甲州	武井 浩（塩山南小）野尻あや子（塩山北小）吉成真麻（塩山北小）藤原和美（大藤小）植松文香（玉宮小）柏原真澄（祝小）廣瀬敦子（菱山小）萩原久子（塩山中）水上陽介（塩山中）林亜友美（塩山北中）武藤真由美（松里中）山本順美（勝沼中）

第6学年 音楽科学習指導案

指導者 加納岩小学校 鈴木 千秋

1 題材名 曲想を味わって演奏しよう。

2 題材の目標

曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって演奏する。

3 題材設定の意図

(1) 題材について

この題材は、学習指導要領第5学年及び第6学年の学年目標(2)「基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにする。」を受け、A表現(2)イ「曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって演奏すること。」に関する学習内容である。

本題材では、その曲が醸し出す独特な趣を感じ取り、軽快ではずむ感じ、ゆったりと落ち着いた感じなどを、さまざまな音楽的な要素と関連付けながら、それを生かし工夫して演奏していく活動をしていきたい。また、表現に対する自分の考えや願い、意図をもって演奏できることを目指したい。

これまでの様々な活動を通して学び、身につけてきたことをさらに高め、表現を工夫し、思いや意図をもって表現できる力を育てることはもちろん、曲想を味わいながら演奏を楽しめる子どもを育てたい。

(2) 本題材で位置づける〔共通事項〕

ア(ア) 音色、速度、和声の響き

- ・自分たちがイメージした感じに合った音色で演奏する。
- ・速度や音色などを変化させることで表現される曲想の違いを感じ取って演奏する。
- ・和音の変化を感じながら、演奏する。

(3) 児童の実態

3年生のときから音楽を担当してきた学年であるが、表現活動については歌唱、リコーダーとも興味・関心が高く、新しく取り組む曲をとっても楽しみにし、少し難しい曲にチャレンジしたいという、前向きな子どもたちである。今まで、音楽集会の取り組みなどで、聴き手に何を伝えたいのか、そのためには、どんな表現を工夫したらよいかなどを考えてきた。たくさん意見が出るが、いざ表現となると、恥ずかしがったり表情がかたくなったりして思うようにいかないことに何度もぶつかってきた。その曲の持つ雰囲気や特徴を感じ取って、それを自分なりの思いを持って表現を工夫しながら楽しく演奏することで、表現することへの抵抗感を和らげ喜びを味わわせたい。

4 教材について

「笑点のテーマ」 中村 八大 作曲 河西 保郎 編曲

子どもたちもよく知っている、日本テレビ「笑点」のテーマ曲である。リコーダーの基礎的な奏法も含まれ、和音の変化を感じながら、笑いや楽しさも表現しやすい曲である。以前に取り組んだことがある曲であるが、また違った曲想で表現するとどんな音楽が表現できるのか、思いを膨らませていくのに面白みを感じる教材である。

5 指導計画及び評価規準（全3時間）

時	◎ねらい ◆学習活動	評価規準
第1時	◎曲のイメージをもち、それに合った演奏をする。 ◆曲のテーマになっている「笑い」「楽しさ」を表現するための音楽のしかけを知る。 ・連想法マップを使う。 ・速度を変化することを切り口に考えさせる。 ・演奏をしながら感じ取る。	・曲のもつ特徴に気づき、興味関心をもって学習に取り組んでいる。【関】 ・どのように演奏するかについて思いをもっている。【創】
第2時	◎「笑点のテーマ」を《おしゃれ》に変身させる音楽のしかけを考える。 ◆速度以外のしかけにふれる。 ・キーワードをあげる。 ・キーワードを表現するための音楽のしかけを考える。 ・音の重なり、和音の変化による響きの違いや心地よさを感じながら演奏する。 ◆個で考えたものを持ち寄って、どんな音楽のしかけを使うかグループで話し合っ決めて。 ・ワークシートをもとに話し合う。	《おしゃれ》な「笑点のテーマ」とは、どんなものなのかイメージを膨らませている。【創】
第3時 (本時)	◎速度や音色などを変化させることによる表現を工夫し思いをもって演奏する。 ◆前時の学習を生かし、さらに深める。 ◆「笑点のテーマ」を《おしゃれ》に変身させて演奏する。 ・リーダーを中心にグループで練習する。	・《おしゃれ》をイメージした表現を工夫している。【創】 ・思いをもって演奏している。【技】

6 本時の学習

- (1) 日時 2013年8月30日(金) 5校時
- (2) 場所 山梨市加納岩小学校 音楽室
- (3) 学級 6年2組 男子11名 女子20名 計31名
- (4) 本時のねらい

・速度や音色などを変化させることによる表現を工夫し、思いをもって演奏する。

(5) 展開

過程	学習活動	指導上の留意点	評価規準
導入 2分	○本時のめあてを確認する。 音楽のしかけを使って「笑点のテーマ」を 《おしゃれ》に変身させよう。		
展開 38分	○音楽のしかけを使って話し合う。 ○自分たちで考えた工夫をリコーダーで演奏してみる。 ○グループごとに工夫した表現を発表し、演奏する。	・話合いの中で演奏を入れながらすすめさせる。 ・聴きあい、意見を交換しながら、自分たちのテーマにそった表現に近づけるようにグループをまわりながらアドバイスする。 ・互いの演奏を聴きあい、それぞれのグループがどんな思いで表現の工夫をしたのか、感じ取らせた	・表現の仕方を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもって活動している。【創】 ・表現を工夫し、思いや意図をもって演奏している。 【技】
終末 5分	○本時の振り返り ○まとめ	・感想を発表させる。	

〈まとめ〉 ～成果と課題～

成果

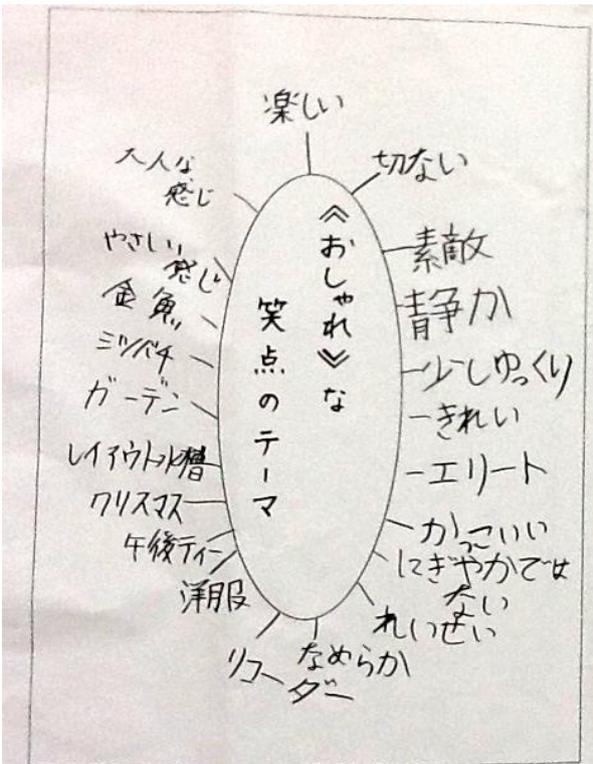
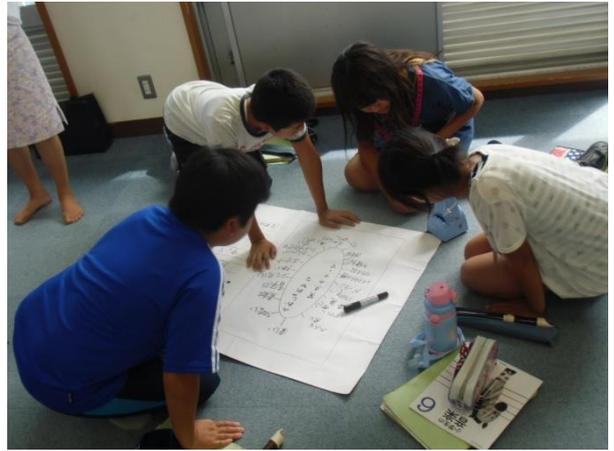
- ・温かい集団の中で授業が展開していた。
- ・男子が活躍していた。
- ・「おしゃれ」というテーマでイメージが広がりすぎると思ったが、子どもたちにはいろいろな思いがあり、音楽の切り口を意識して活動できていた。
- ・豊かな発想で、子どもたちなりのイメージを表現できていた。
- ・3拍子を選んだグループも自分たちの思いから3拍子がでてきた。
- ・前時の試行錯誤のあとが、シートに見られた。
- ・事前の指導が本時に生きていた。
- ・「笑点」は既習曲でリコーダーも上手に吹けていたので、アレンジがしやすかった。
- ・自分の思いをグループ練習の中でみんなに伝えていた子もいた。
- ・音楽的なところに焦点をあてて考えられたところがよかった。
- ・3年生からの指導の継続、積み重ねの大切さが感じられた。

課題

- ・グループ練習の時間の中に、全体で情報を交換するようなことをしてもよかった。
- ・グループ活動にどこかで区切りをつけて、全体に還流する場面をつくるのが大切。
- ・イメージを音にすることの難しさを感じた。
- ・違う楽器を効果音に使ったり、リズム伴奏をつけたりするようなこともできるとよい。
- ・楽譜に戻る活動も大事。

講評

- ・学びの雰囲気よかった。子どもたちの人間関係がとてもよい。
- ・目標の「思いや意図をもって」が大切にされている授業だった。
- ・思いを共有して表現するために音楽のしかけが大切になる。いろいろな部分でしかけについて考えていたことがよかった。そのしかけを手がかりにして組み立てていったので、それぞれのグループなりの表現になった。
- ・学びが深まるグループ活動であった。
- ・原曲とアレンジの違いを子どもたちは楽しんでいた。
- ・一つのパターンを全員で演奏してみるのもよい。



6年(2)組 (E) 班

★わたしたちのイメージする《おしゃれ》は...

大人な感じ です。

★それを表現するために...

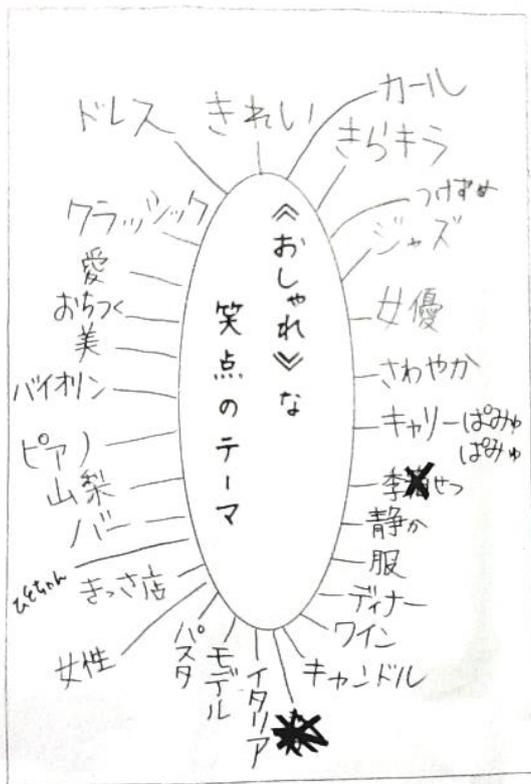
速度 を

ゆっくりに $\downarrow = 84$ しました。

音色 を

なめらかな優しい感じに しました。

6年(2)組 (A)班



★わたしたちのイメージする《おしゃれ》は...

クラシック です。

★それを表現するために...

音色 を

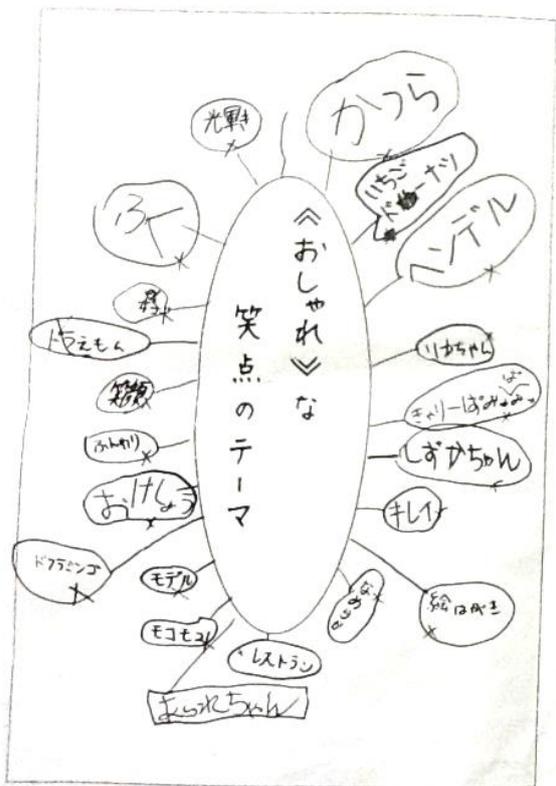
やわらかい音に しました。

拍の流れ ~~X~~ を

三びょうしに しました。

~~三びょうしに~~ しました。

6年(1)組 (F)班



★わたしのイメージする《おしゃれ》は...

チャーリーはみゅはみゅ です。

★それを表現するために...

そくど を

速く しました。

リズム を

タツカのリズムをつかるとはねるおに しました。

思ったこと

- ・自分たちで考えアレンジしたのがおもしろかった。
- ・1つの曲で色々なイメージがでておもしろかった。
- ・班で集まった人たちがおんなじかうイメージをもっていてまとめてみたりするのがおもしろかった。
- ・イメージは沢山の曲の中に音楽のイメージをいれるのがおもしろかった。
- ・おんなじかうイメージをもらいいろいろな発表が聞けて楽しかった。
- ・表現のしかたがいろいろあったのしかった。

6-2

ぼくが今回の音楽で学んだことは、
音楽のたくさんの音と音楽の楽しさと音楽
のすばらしさです。音楽のたくさんの音とい
うのは、音楽は速いかたやテンポで、
いろいろな感じかたをするというこ
とです。そして、最後に先生達が歌った歌
がとても耳にひびいてきた。

今回の授業でぼくは音楽も人間と
同じように生きているのかなって
思った。